

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	和歌山県立 貴志川高等学校	山本 明広
学校所在地		
〒 640 - 0415 紀の川市貴志川町長原 4 0 0 tel 0736 (64) 2500 fax 0736 (64) 2501		
担当者名	役職名・担当教科	
清水 昭好	教諭・理科	
〔学校の概要〕 <p>本校は、昭和 2 3 年発足した和歌山県立那賀高等学校貴志分校を前身として、昭和 3 5 年に和歌山県立貴和高等学校（定時制）として、鳩羽山を望む「生涯学習の町」に設立されました。昭和 3 8 年には全日制女子高校として再スタートを切り、昭和 5 8 年には校名を和歌山県立貴志川高等学校（全日制普通科）と変更しました。</p> <p>平成 1 1 年には、学科改編を行い、人間科学科を新設し、現在に至るまで多くの卒業生を輩出してきました。「以和為貴」を校訓に掲げ、「人間として生き抜く力を身につけた、地域と社会に有為な人材を育成する。」ことを目標に、一人一人を大切に教育を実践しながら、生徒・教職員・地域が一丸となった教育活動に取り組んでいます。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1 年生 20 名	8 名 職員 4 名	一の橋～弘法大師御廟
実践研究テーマ		
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について理解を深める		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目「ヒューマンライフ」	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史・文化について学ぼう	
〔キーワード〕		
〔単元目標〕		
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史や文化を学び、現地での体験的な学習を通して、国の歴史や文化を尊重する態度や自然環境を保全する素養を身につけるとともに、故郷「和歌山」についての理解を深める。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体	4 時間 （「世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史・文化について学ぼう」	4 時間 ）
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター … 次世代育成事業 和歌山県世界遺産マスター … 次世代育成事業（現地学習）		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 事前学習（本校）	世界遺産センターのホームページ等を活用し、読み合わせや和歌山県の世界遺産についての事前学習を行う。	ワークシート
2	2. 世界遺産講座	世界遺産センターの職員の方に講義して頂き、「世界遺産が生まれたきっかけ」「紀伊山地の霊場と参詣道の歴史的・文化的な価値」「世界遺産を保全する活動の重要性」等を学ぶ。	観察
3	3. 現地学習 （一の橋～弘法大師御廟）	世界遺産マスターのガイドのもと一の橋～弘法大師御廟までを歩きながら、高野山の歴史や文化について学ぶ。	観察
4	4. 振り返り	「世界遺産講座」「現地研修」の振り返りを行い、世界遺産としての「紀伊山地の霊場と参詣道」の意義や保全活動の重要性についての理解を深める。	ワークシート

〔単元学習の成果と課題〕

今回の活動を通して、生徒たちの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についての興味関心が高まっていた。同時に、世界遺産としての紀伊山地や世界遺産を大切に守り、次世代に引き継いでいくための保全活動の重要性への理解も深まっていた。また、故郷「和歌山」の良さや自然の豊かさを再発見し、よりよい生活を志向することができた。

今後は、道普請などの世界遺産を保全する活動の意義を体験から学ぶ機会も検討したい。さらに、生徒たちの学習の様子を見ながら改良や工夫を加え、自然環境について考える機会を設けるなど、学習をよりよいものにしていきたい。

〔世界遺産学習の効果〕

- (1) 世界遺産センターの職員の方から世界遺産の概要を学び、また世界遺産マスターのガイドのもと現地学習を受けることで、世界遺産の価値について深く考える機会となる。
- (2) 世界遺産の歴史や文化、保全する重要性への理解が深まるだけでなく、他国の歴史や文化を尊重する態度を養うとともに、故郷である「和歌山」についての興味関心が高まる。
- (3) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」で学習したことをもとに、自然環境の保護などに関心を持ち、課題設定ができる。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

今回、初めて次世代育成事業に参加させていただいた。世界遺産講座や現地ウォークなどの学習が活動の中心になったが、今後は、道普請や清掃活動といった世界遺産を次世代に良好な状態で継承するための保全活動に生徒が参加し、世界遺産の意義や保全の大切さを知識と体験から学ぶ機会を増やしていきたい。また、世界遺産学習を通してSDGsの概念に触れ、地球の未来に目を向ける機会を設定したい。

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

【生徒の感想より】

今回、この活動に参加して普段できない体験ができ、自分が知らなかったたくさんを知ることができました。

世界遺産センターの方のお話を聞いて印象的だったのは、世界遺産が崩れないように保つために、道を土で埋めて整える道普請という活動がされているということです。世界遺産は登録が抹消されたりすることには驚いたし、世界遺産を守るために、自分の知らないところで、そのような活動がされていて、世界遺産を守るためには、その地道な活動を続けていくことが大切なんだと学ぶことができました。また、現地研修では、世界遺産マスターの方に高野山について詳しくわかりやすく説明をしていただきました。特に印象に残っているのは、高野山は、宗教の違いにとらわれず様々な宗教のお墓があったり、敵対していた武将の両方のお墓があったり、高野山に攻め入ろうとしていた武将のお墓があるということです。世界遺産マスターの方が「それが、高野山の魅力だ。」と話されていました。

高野山の歴史や文化についても知ることができ、和歌山県の大切な世界遺産を残していきたいと思いました。本当に和歌山って素晴らしい県だなと思ったし、もっと和歌山について学びたいと思いました。今回学んだことを忘れないようにしたいと思います。

